

令和4年4月21日

令和3年度 IR センター 事業報告

統括管理部 IR・情報課 松浦 智美
大谷 智美

1. データ収集、作成、分析および学内へのデータ提供

■継続事業

- (1) 学生数集計（在籍者・最短卒業年限超過者・原級留置者・退学者）
- (2) 卒業生就職状況集計
- (3) 授業評価アンケートの実施
- (4) 教員別授業評価集計（授業評価アンケートより）
- (5) 科目別学修時間集計（授業評価アンケートより）
- (6) 卒業生アンケートの実施
- (7) 就職先アンケートの実施
- (8) 自校教育に対する学生の意識調査集計（創立記念式典アンケートより）
- (9) 修学支援制度（初年次期末 GPA 分布（2019 年度入学生-2020 年度入学生））
- (10) 学校法人基礎調査（日本私立学校振興・共済事業団）
- (11) 学校基本調査（文部科学省）

■新規事業

- (12) 入学者選抜の妥当性の検証について
入学後の学修状況等の調査結果として、2 年次前期 GPA から入学者選抜の妥当性について検証を行うため、分析結果を広報渉外委員会に提示した。
- (13) 入学年度別学業達成率、最低在学年限超過率、国家試験合格率、卒業者数について
2008 年度入学生（1 期生）から 2020 年度入学生（13 期生）を対象に、上記項目を集計し、推移を可視化するデータ理事会に提供した。

2. IR 担当理事との打ち合わせ

全 9 回実施（別紙の通り）

3. 他部署、委員会等と連携した分析の実施

◇理事会

- ・入学年度別学生異動数について
- ・入試種別学生異動数等の情報について
- ・入試種別入学者数

◇国家試験対策小委員会 受付 No. 2021-01

- ・2020 年卒業生（第 56 回国家試験受験者）を対象とした各指標と可否との関連について

4. IR 関連のセミナー等への参加および報告

- ・FD&SD 研修会「大学における戦略経営の取り組みと IR 活動－教職協働の重要性－」

名城大学総合企画部事務部長 鶴田弘樹氏をお招きし、日本の IR の現状や名城大学での事例の紹介があった。講演内容を受け、本学での IR データの活用について参加者から意見を収集した。参加者からの意見を集計し、順次、分析を進めていくこととした。

- ・IR 機能強化に向けた指導・助言について

会場：オンライン（WebEX）

日時 令和 3 年 9 月 16 日（木） 10：00～11：00

名城大学総合企画部 事務部長 鶴田弘樹氏 NTT（名城大学提携業者）

- ・0からはじめる IR 超入門 第3回 統計超入門“このへんを掴んでおけば”の統計知識編

主催：IRI Lab. (Institutional Research Innovation Laboratory)

会場：オンライン配信（Zoom ウェビナー）

日時 令和 4 年 2 月 4 日（金） 13：30～15：30

5. 次年度に向けて

- ・過年度分のデータ遡及作業

IR 情報の更新

科目別 GP 比較

科目別得点分布（2019-2020 年比較）

2020 年度入学生、2021 年度入学生：初年次前期の学修成果分析

- ・各種アンケート調査との連携
- ・データカタログの作成（データ名・データ保管元 等）
- ・学内ファクトブックの作成
- ・IR データ活用案で集計した IR に関するデータの提供